

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	02	174070	起業・新事業展開推進事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	05 農工商観連携の推進	
	施策	01	起業の推進			
目的	市内企業の育成と発展を図るため、新規創業と新事業への展開を支援する。					
対象	市内企業					
意図	起業・創業と新事業の創出					
事業概要	<p>○市内事業所への総合的な支援 29,744千円                      起業化支援センター及びビジカフェはなまきの運営を通じた市内企業及び入居企業に対するコーディネート活動</p> <p>○生産技術研究開発推進 18,000千円                      岩手大学との産学共同研究、新技術開発のための研究</p>					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	○補助・助成	○委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	セミナー・事業相談開催回数	回	計画	40.00	40.00	
			実績	4.00	10.00	
2	サテライトの研究会開催回数	回	計画	15.00	15.00	
			実績	15.00	15.00	
3	ビジカフェはなまきの無料相談件数	件	計画	25.00	25.00	
			実績	19.00	43.00	
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	セミナー・事業相談会参加企業数	社	目標	100.00	100.00	
			実績	41.00	112.00	
2	サテライトの研究会参加企業数	社	目標	40.00	40.00	
			実績	36.00	55.00	
3	ビジカフェはなまきの支援により起業・創業した数	件	目標	3.00	3.00	
			実績	4.00	5.00	
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）	
<p>新型コロナウイルス感染症による施設利用制限が緩和されたことにより、積極的な事業展開を行った結果、「セミナー・事業相談開催回数」は前年度を上回ったが、目標値に達しなかった。「セミナー・事業相談会参加企業数」は、多くの企業に参加を呼びかけた結果、目標値を上回った。「サテライトの研究会開催回数」、「サテライトの研究会参加企業数」については、感染予防を徹底したうえで、開催回数は目標値に達し、参加企業数については、オンラインによる再配信を行うなど、企業が参加しやすい環境を整備したことが起因し目標値を上回る結果となった。</p> <p>また、起業・創業を希望する方のニーズを的確にとらえ、ビジカフェはなまきにつなぐことができたことにより、「ビジカフェはなまきの無料相談件数」及び「ビジカフェはなまきの支援により起業・創業した数」は目標値を上回った。</p>	
目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <p>○ 妥当である</p> <p>見直し余地がある</p> <p>妥当でない</p>
有効性	<p>成果の向上余地</p> <p>○ 向上余地がある</p> <p>向上余地がない</p>
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <p>事業費の削減余地がある</p> <p>人件費の削減余地がある</p> <p>○ どちらも削減余地がない</p>
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <p>受益機会の見直し余地がある</p> <p>費用負担の見直し余地がある</p> <p>○ 適正である</p>
今年度の振り返り	<p>起業化支援センター及び岩手大学と連携して市内企業を支援したことにより、市内企業の新規創業、新技術及び研究開発等が推進された。</p>
総合評価	<p>次年度に向けて</p> <p>セミナーや研究会の開催については、コロナ禍後を見据えた新たな事業展開を支援するため、市内企業のニーズを捉えながらセミナーの実施方法や内容を充実させることで参加企業の増加を図る。また市内で起業・創業を希望している方に対しては、ワンストップでの相談体制をより充実させ、抱えている課題の解決に関係機関が連携して取り組む。</p>